

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2016年1月1日から2016年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) 秋田県多喜二祭実行委員会編『小林多喜二 生地からの発信—秋田県多喜二祭の記録 第三集』2016年2月20日、全280ページ（共著）
- 2) 吉澤結子、村田純、津田渉、鈴木英治、露崎浩、高橋秀晴、水野衛「「秋田の歩き方入門」履修効果の検証と「あきた地域学」への展開—生物資源科学部を例に—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2016年3月31日、第17号、65～71ページ（共著）

II 学会報告等

*学会報告

- 1) 高橋秀晴「金子洋文と今野賢三」秋田風土文学会、2016年2月13日（於：あきた文学資料館）

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～
- 2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～
- 3) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～
- 4) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～
- 5) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～
- 6) 秋田県青少年健全育成審議会副会長、2014年4月～
- 7) 秋田県青少年健全育成審議会環境浄化部会長、2014年4月～
- 8) A B S 秋田放送番組審議会委員長、2014年7月～
- 9) 秋田県文化財保護審議会委員、2014年9月～
- 10) 秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014年10月～
- 11) 秋田県立秋田高等学校同窓会常任理事、2014年10月～
- 12) 私大・短大パワーアップ支援事業審査委員会委員、2015年4月～
- 13) 大学評価・学位授与機構大学機関別認証評価委員会専門委員、2015年5月1日～2016年4月30日
- 14) 秋田県総合政策審議会会長代理、2016年4月～
- 15) 秋田県総合政策審議会教育・人づくり部会長、2016年4月～
- 16) 秋田県地方創生有識者会議委員、2016年6月～
- 17) 「あきたスマートカレッジ」プログラム検討委員会委員、2016年10月～

*学会活動

- 1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～
- 2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～
- 3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～
- 4) 日本社会文学会理事、2011年6月～
- 5) 日本近代文学会東北支部長、2014年7月～
- 6) 日本近代文学会評議員、2014年7月～

- 7) 秋田風土文学会会長、2015年2月～
- 8) 日本社会文学会編『社会文学の三〇年—バブル経済 冷戦崩壊 3・11』（菁柿堂）編集委員、2015年6月13日～2016年8月
- 9) 秋田風土文学会総会運営、2016年2月13日
- 10) 「種蒔く人」顕彰会幹事、2016年4月～
- 11) 日本近代文学会東北支部夏季大会運営、2016年7月9日
- 12) 秋田風土文学会文学踏査運営、2016年8月27～28日
- 13) 日本文学協会委員、2016年12月～
- 14) 日本近代文学会東北支部冬季大会運営、2016年12月23日

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 真砂婦人学級講座「戦中・戦後の日本近代文学」2016年1月15日（於：西部市民サービスセンター）
- 2) 真砂婦人学級講座「プロレタリア文学と秋田」2016年2月19日（於：西部市民サービスセンター）
- 3) 美の国アクティブカレッジ特別講座「大正文学史と秋田—樗陰・小牧・洋文・賢三らの功績—」2016年3月5日（於：秋田県生涯学習センター）
- 4) 教員免許状更新講習「秋田の近代文学」2016年7月25日（於：秋田県立大学）
- 5) 将来設計ガイダンス「パネルディスカッション」2016年8月7日（於：秋田県総合教育センター）
- 6) 将来設計ガイダンス「学問別ガイダンス」2016年8月8日（於：秋田県立大学）
- 7) あきたスマートカレッジ／あきた教養講座「芥川龍之介—鬼才ゆえの栄光と挫折—」2016年8月20日（於：秋田県生涯学習センター）
- 8) あきた文学資料館開館一〇周年記念文学講座「昭和前期の文学と秋田—伊藤永之介を中心にして—」2016年9月28日（於：あきた文学資料館）
- 9) あきたスマートカレッジ／あきた教養講座「谷崎潤一郎—悪魔主義という快樂—」2016年10月1日（於：秋田県生涯学習センター）
- 10) 秋田ロータリークラブ例会卓話「新資料・石川達三書簡」2016年10月5日（於：秋田キャッスルホテル）
- 11) あきたスマートカレッジ／あきた教養講座「『種蒔く人』—プロレタリア文学を拓く—」2016年10月8日（於：秋田県生涯学習センター）
- 12) ほくとライブラリー—土崎図書館市民文化講座「『種蒔く人』と秋田の女性」2016年10月9日（於：ほくとライブラリー—土崎図書館）
- 13) 平成28年度秋田県高等学校教育研究会国語部会全県国語教育研究大会講演会「今求められる国語の力とは—10年後の社会を想定しつつ—」2016年10月19日（於：秋田県立秋田北鷹高校）
- 14) 秋田市女性学習センター—近代文学講座「渡辺喜恵子と秋田—『みちのく子供風土記』と『タンタラスの虹』—」2016年11月7日（於：中央市民サービスセンター）
- 15) 秋田市女性学習センター—近代文学講座「秋田県初の快挙—直木賞受賞作『馬淵川』—」2016年11月14日（於：中央市民サービスセンター）
- 16) 秋田市女性学習センター—近代文学講座「女性の視点—毎日出版文化賞受賞作『啄木の妻』—」2016年

11月21日（於：中央市民サービスセンター）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 平成28年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料による金子洋文研究」（課題番号24520221）
研究代表者
- 2) 大学コンソーシアムあきた平成28年度学際的研究プロジェクト「秋田県の活性化のための調査研究」
共同研究者
- 3) 平成28年度秋田県立大学学長プロジェクト（科研費チャレンジ研究）「新資料および未利用旧蔵資料
による今野賢三研究」研究代表者

* 報告書等

- 1) 「秋田県の活性化のための調査研究」（大学コンソーシアムあきた平成27年度学際的研究プロジェクト
報告書）2016年3月（共著）
- 2) 「新資料による金子洋文研究」（科学研究費補助金報告書）2016年5月（単著）

* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 「開館一〇周年」『あきた文学資料館だより』2016年7月、第21号、1ページ（単著）
- 2) 「時代を映す永之介作品／あきた文学資料館10周年記念講座に寄せて」『秋田魁新報』2016年9月26日
（単著）
- 3) 「新資料・石川達三書簡」『AKITA ROTARY WEEKLY』2016年10月、2ページ（単著）
- 4) 「天雲成津子「『文芸戦線』にみる諸活動－紙面が伝えるもの」印象記」『日本近代文学会東北支部会
報』2016年10月20日、第53号、11～13ページ（単著）

* 記事・取材協力等

- 1) 「秋田放送番組審議会／「学び舎の詩」を合評」『秋田魁新報』2016年1月26日
- 2) 「秋田放送番組審議会／年末報道特番を合評」『秋田魁新報』2016年2月27日
- 3) 「秋田放送番組審議会／「あの夏 甲子園で」合評」『秋田魁新報』2016年3月30日
- 4) 「秋田放送番組審議会／「和崎ハル…」を合評」『秋田魁新報』2016年5月31日
- 5) 「秋田放送番組審議会／「ピンクのプライド」を合評」『秋田魁新報』2016年6月28日
- 6) 「秋田放送番組審議会／「森の恵みー」を合評」『秋田魁新報』2016年7月27日
- 7) 「石川達三未公開書簡17通／中央公論宛て／言論弾圧にめげず」『読売新聞』2016年8月10日
- 8) 「石川達三の未公開書簡秋田県立大教授分析／発禁処分でナーバスに／硬派な印象と別な一面」『河北
新報』2016年8月10日
- 9) 「石川達三の未公開書簡／秋田県立大高橋教授発表／雑誌編集者宛て17通／戦時中発禁処分「つらい」
『東奥日報』他各地方紙（共同通信配信）2016年8月10日
- 10) 「石川達三の書簡17通発見／県立大・高橋教授が解析／発禁処分への心境吐露」『秋田魁新報』2016年
8月10日
- 11) 「杉／作家の書簡」『秋田魁新報』2016年8月12日
- 12) 「秋田出身の小説家、石川達三／未公開書簡を発見／「生きている兵隊」発禁処分につらい心境も」
『毎日新聞』2016年8月12日

- 13) 「文学資料館10周年記念講座／「反戦平和を広めた」／「種蒔く人」小牧の思想紹介」『秋田魁新報』2016年8月20日
 - 14) 「講座「昭和前期の文学と秋田 伊藤永之介を中心にして」」『朝日新聞』2016年9月16日
 - 15) 「平和や人権活動／秋田の女性紹介／来月9日に市民講座」『朝日新聞』2016年9月17日
 - 16) 「近代文学講座」『広報あきた』2016年10月7日
 - 17) 「反戦平和や差別撤廃／「種蒔く人」の思想／女性作家らに影響／土崎図書館で講演会」『秋田魁新報』2016年10月14日
 - 18) 「石川達三人と作品／「ふるさとと文学2016」を前に」『秋田魁新報』2016年10月19日
 - 19) 「秋田放送番組審議会／「熱血社長の箱入り娘」を合評」『秋田魁新報』2016年10月25日
 - 20) 「高井有一さん死去／「優しい人柄だった」／県関係者から惜しむ声」『秋田魁新報』2016年10月27日
 - 21) 「秋田放送番組審議会／「壇密と、天才画家の影法師」を合評」『秋田魁新報』2016年11月29日
 - 22) 「秋田放送番組審議会／一年振り返り合評」『秋田魁新報』2016年12月21日
- * 被書評・引用・言及等
- 1) 註『徳田秋聲の昭和 更新される「自然主義」』2016年3月31日、169ページ

渡部 諭 教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 『老年心理学の最前線』（ワールドプランニング）2016年12月（共著）

* 学術論文等

- 1) 渡部諭「高齢者の多重エゴ・ネットワークに潜むリスクに関する研究 ～Exponential random graph model を用いた分析の可能性～」『秋田県立大学ウェブジャーナル B』（秋田県立大学）2016年、第3号、135-142ページ（単著）
- 2) 澁谷泰秀・渡部諭・吉村治正・小久保温「肯定的項目と否定的項目の混在が尺度に及ぼす影響：項目反応理論による社会調査データの分析」『青森大学附属総合研究所紀要』（青森大学）2016年、第17巻、第2号、1-11ページ（共著）
- 3) 渡部諭・久保田力・杉山朗子「Spirituality 評定項目に関する項目反応理論による分析」『東北芸術工科大学紀要』（東北芸術工科大学）2016年3月（共著）
- 4) 渡部諭・澁谷泰秀・鈴木康弘「PISA 2012における特異項目機能の分析」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学）2017年3月1日、第18号、1-8ページ（共著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 小久保温・澁谷泰秀・吉村治正・渡部諭「社会調査における郵送による質問紙と Web アプリケーションの比較」情報処理学会第79回全国大会、2017年3月16-18日（於：名古屋大学）

<p>* 学会報告座長</p> <p>1) The 31st International Congress of Psychology (ICP2016) Thematic Session For preventing elderly people from becoming fraud victims - Contributions from the psychology of cognitive aging -, 2016年7月28日 (於: パシフィコ横浜)</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田市シルバー人材センター会員互助会20周年記念事業講演「心理学が解き明かす高齢者の心の秘密ーなぜ振り込め詐欺に遭いやすいのか?ー」、2016年11月10日 (於: 秋田市文化会館)</p>
<p>V その他の活動</p> <p>1) 日本経済新聞「東北人の一計 第13部研究者編 被害者分析研究に挑む」2016年7月6日掲載</p>

小松田儀貞 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 小松田儀貞「医療における市民協働の試みー「カトレアの森」の事例を中心にー」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』2016年、第17号、9～17ページ (単著)</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会部会司会</p> <p>1) A部会「地域医療・福祉」司会 第63回東北社会学会大会、2016年7月31日 (於: 青森県観光物産館アスパム (青森市))</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) エフエム秋田番組審議会委員、2008年4月～ (副委員長2010年4月～)</p> <p>2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～</p> <p>3) 秋田県立博物館協議会委員 (副会長2013年7月～、会長2015年7月～)</p> <p>4) 日本女性会議2016秋田実行委員会 (副委員長2015年5月～)</p> <p>5) 秋田市男女共生推進会議委員 (2016年4月～)</p> <p>6) 秋田市男女共生推進会議専門委員会委員 (委員長2016年6月～)</p> <p>7) 秋田市小・中学校適正配置推進委員会委員 (2016年6月～)</p> <p>8) 第26回秋田市男女共生フォーラム実行委員会 (副委員長2016年11月～)</p>

IV 講演・公開講座等

- 1) 小松田儀貞「県内避難者支援の取り組み」「学生のための災害ボランティア講座」災害ボランティア活動支援ネットワークあきた主催・秋田県社会福祉協議会共催、2016年5月28日（於：カレッジプラザ）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 2015～2018年度科学研究費（基盤研究（C））「高度化する現代医療における市民協働とシティズンシップの可能性に関する社会学的研究」（研究課題番号：15K03850）研究代表者
- 2) 2014～2016年度科学研究費（基盤研究（C））「地域コミュニティに基盤を置いた社会的包摂と包括的キャリア教育に関する研究」（研究課題番号：26381090）研究分担者

* コーディネーター

- 1) 「日本女性会議2016秋田」分科会報告（主催：日本女性会議2016秋田実行委員会・秋田市、共催：秋田県）2016年10月29日（於：秋田県民会館大ホール）
- 2) 「仙北市女性の活躍推進交流会～広げよう選択肢・しなやかな暮らしと企業戦略の創造～」パネルディスカッション（主催：仙北市・仙北市女性の活躍推進交流会実行委員会）2016年11月7日（於：あきた芸術村温泉ゆぼぼホテル棟 紫苑の間）

* ラジオ番組

- 1) 2016年6月20日（月）エフエム秋田「秋田市マンデー555」午後5時55分～午後6時放送

内山 応信 准教授

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 第3次秋田市スポーツ振興マスタープラン策定検討委員会委員、2016年11月～
- 2) 秋田市スポーツ振興基金運営委員会委員、2016年5月～2018年3月
- 3) 秋田市チャレンジデー実行委員会委員、2016年4月～
- 4) 秋田県スポーツ科学センター成人スポーツ実施率向上事業「市町村スポーツ推進委員等に対するスポーツ活動プログラム提供」技術協力、講師、2014年10月～
- 5) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実行委員会委員、2011年5月～
- 6) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～
- 7) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～

* 学会活動

- 1) 日本教育医学会常任理事、2014年8月～
- 2) 日本体力医学会東北地方会幹事、2012年8月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 「秋田音頭で健康体操」講師、2016年12月8日（於：秋田県立体育館）
- 2) 「秋田音頭で健康体操」講師、2016年12月7日（於：由利本荘市大内公民館）
- 3) 秋田県能代市役所「能代市民学校 転倒予防教室」講師、2016年11月29日（於：能代市向能代公民館 大会議室）
- 4) 「秋田音頭で健康体操」講師、2016年11月9日（於：秋田県長浜公民館）
- 5) 旭南地区自主防災組合連合会、(一社) 日本建築学会災害委員会「旭南地区防災運動会2016」講師、2016年10月8日（於：秋田市立旭南小学校及び秋田市旭南地区コミュニティセンター）
- 6) NPO 法人常盤ときめき隊「日曜朝市」講師、2016年6月16日、及び11月27日（於：秋田県能代市上町）
- 7) 秋田県高等教育課高校生未来創造支援事業キャリア教育総合推進事業「将来設計ガイダンス」講師、2016年8月8日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）
- 8) 秋田県スポーツ科学センター「平成28年度体力診断事業アスリート診断」アドバイザー、2016年7月25日（於：秋田県スポーツ科学センター）
- 9) 秋田県スポーツ科学センター平成27年度成人スポーツ実施率向上事業「円熟体操 in 仙北」講師、2016年3月11日（於：秋田県仙北市田沢湖デイサービスセンターホール、及び西木材業者等健康増進施設）
- 10) 秋田県スポーツ科学センター平成27年度成人スポーツ実施率向上事業「円熟体操 in 北秋田」講師、2016年3月7日（於：秋田県北秋田市合川体育館、及び北健康増進センター）
- 11) 秋田市教育委員会「平成27年度秋田市スポーツ少年団ブロック研修会 幼児期・児童期の適切な運動遊びについて」講師、2016年2月19日（於：秋田市南部市民サービスセンター内地域文化ホール）
- 12) 秋田市教育委員会「平成27年度秋田市スポーツ少年団ブロック研修会 幼児期・児童期の適切な運動遊びについて」講師、2016年2月16日（於：秋田市文化会館）
- 13) 秋田市教育委員会「平成27年度秋田市スポーツ少年団ブロック研修会 幼児期・児童期の適切な運動遊びについて」講師、2016年2月9日（於：秋田市北部市民サービスセンター内地域文化ホール）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成（挑戦的萌芽研究）、「易転倒高齢者の環境条件変化に対応するバランス適応能力とその日内変動の解明」（Research Project Number: 25560371）、2013年4月～2017年3月、研究代表者
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成（基盤研究C）、「超高齢化農村コミュニティ再生—住民意欲醸成手法の開発」（Research Project Number: 26450331）、2014年4月～2017年3月、研究分担者

* 受託研究

- 1) 秋田県山本郡三種町役場、「三種町版DMO計画策定及び特産品販売に関する研究調査業務委託」、2016年5月18日～2016年3月10日、研究分担者

* 報告書等

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成27年度）、「易転倒高齢者の環境条件変化に対応するバランス適応能力とその日内変動の解明」（Research Project Number: 2556031）

* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 「転倒予防を知ろう 向能代市民学校 内山准教授（県立大）理論的に」『北羽新聞』2016年12月2日
- 2) 「秋田音頭で健康体操 県立大教員3人発案 なじみの曲、認知症予防も」『秋田魁新報』2016年9月17日

* 記事・取材協力等

- 1) 「常盤ときめき隊 今季最後の朝市生協能代朝市」『秋田魁新報』2016年12月2日
- 2) NHK 秋田放送局、取材協力「秋田音頭で健康体操」について、2016年11月18日

* 被書評・引用・言及等

- 1) 被引用：Uchiyama M、Demura S、Sugiura H 「The mobility performance of the elderly before, during and after crossing over an obstacle」『Human Movement』2012年、第13巻4号、297～302ページ
 - Shin SS、An DH、Yoo WG 「Effects of Balance Control Through Trunk Movement During Square and Semicircular Turns on Gait Velocity, Center of Mass Acceleration, and Energy Expenditure in Older Adults」『PM and R』2016年、第8巻10号、953～961ページ
- 2) 被引用：Demura S、Sato S、Shin S、Uchiyama M 「Setting the criterion for fall risk screening for healthy community-dwelling elderly」『Archives of Gerontology and Geriatrics』2012年、第54巻2号、370～373ページ
 - Hirase T、Inokuchi S、Matsusaka N、Nakahara K、Okita M 「Effects of a resistance training program performed with an interocclusal splint for community-dwelling older adults: A randomized controlled trial」『Journal of Physical Therapy Science』2016年、第28巻5号、1499～1504ページ
 - Shin S、Kim HS、Sung SC、Yabumoto T、Kasuga K、Kim K、Matsuoka T 「Regional differences in fall-related physical fitness of the elderly between Seoul, Korea and Gifu, Japan」2016年、第238巻3号、247～253ページ
- 3) 被引用：Demura S、Yamada T、Uchiyama M、Sugiura H、Hamazaki H 「Selection of useful items for fall risk screening for community dwelling Japanese elderly from the perspective of fall experience, physical function, and age level differences」『Archives of Gerontology and Geriatrics』2011年、第53号2巻、123～130ページ
 - Jinnouchi T、Hirase T、Inokuchi S 「The Influence of physical and cognitive functions on falls by elderly persons attending community day-care centers」『Rigakuryoho Kagaku』2016年、第31巻1号、31～35ページ
- 4) 被引用：Demura S、Uchiyama M 「Influence of cell phone email use on characteristics of gait」『European Journal of Sport Science』2009年、第9巻5号、303～309ページ
 - Moustafa AA、Chakravarthy S、Phillips JR、Crouse JJ、Gupta A、Frank MJ、Hall JM、

- Jahanshahi M 「Interrelations between cognitive dysfunction and motor symptoms of Parkinson's disease: Behavioral and neural studies」『Reviews in the Neurosciences』2016年、第27巻5号、535～548ページ
- Zaki MH、Sayed T 「Exploring walking gait features for the automated recognition of distracted pedestrians」『IET Intelligent Transport Systems』2016年、第10巻2号、106～113ページ
 - Nurwulan NR、Jiang BC 「Possibility of using entropy method to evaluate the distracting effect of mobile phones on pedestrians」『Entropy』2016年、第18巻11号、390
- 5) 被引用：Uchiyama M、Demura S 「The role of eye movement in upright postural control」『Sport Sciences for Health』2009年、第5巻1号、21～27ページ
- Dallas G、Dallas K 「Effects of ankle joint injuries on balance in male and female gymnasts」『Science of Gymnastics Journal』2016年、第8巻2号、149～156ページ
- 6) 被引用：Uchiyama M、Demura S 「Low visual acuity is associated with the decrease in postural sway」『Tohoku Journal of Experimental Medicine』2008年、第216巻3号、277～285ページ
- Jimenez S、Hollands M、Palmisano S、Kim J、Markoulli M、McAndrew D、Stamenkovic A、Walsh J、Bos S、Stapley PJ 「Age-related effects of increasing postural challenge on eye movement onset latencies to visual targets」『Experimental Brain Research』2016年、第234巻6号、1599～1609ページ
 - Agostini V、Sbrollini A、Cavallini C、Busso A、Pignata G、Knaflitz M 「The role of central vision in posture: Postural sway adaptations in Stargardt patients」『Gait and Posture』2016年、第43巻1号、233～238ページ
- 7) 被引用：Demura S、Yamaji S、Kitabayashi T、Yamada T、Uchiyama M 「Effects of room temperature and body position change on cerebral blood volume and center-of-foot pressure in healthy young adults」『Journal of Physiological Anthropology』2008年、第27巻2号、63～70ページ
- Hirose N、Kondo Y、Maeda T、Suzuki T、Yoshino A 「Relationship between regional cerebral blood volume and oxygenation and blood pressure during spinal anesthesia in women undergoing cesarean section」『Journal of Anesthesia』2016年、第30巻4号、603～609ページ
 - Shiue I 「Cold homes are associated with poor biomarkers and less blood pressure check-up: English Longitudinal Study of Ageing, 2012-2013」『Environmental Science and Pollution Research』2016年、第23巻7号、7055～7059ページ
 - Ceylan B、Khorshid L、Güneş UY、Zaybak A 「Evaluation of oxygen saturation values in different body positions in healthy individuals」『Journal of Clinical Nursing』2016年、第25巻7-8号、1095～1100ページ
- 8) 被引用：Matsuda S、Demura S、Uchiyama M 「Centre of pressure sway characteristics during static one-legged stance of athletes from different sports」『Journal of Sports Sciences』2008年、第26巻7号、775～779ページ

- Hudson C、Garrison JC、Pollard K 「Y-balance normative data for female collegiate volleyball players」『Physical Therapy in Sport』2016年、第22巻、61～65ページ
 - Cug M、Wikstrom EA、Golshaei B、Kirazci S 「The effects of sex, limb dominance, and soccer participation on knee proprioception and dynamic postural control」『Journal of Sport Rehabilitation』、2016年、第25巻1号、31～39ページ
- 9) 被引用：Demura S、Uchiyama M 「Effect of traditional floor sitting on postural control after standing」『Journal of human ergology』2005年、第34巻1－2号、13～23ページ
- Prakash V、Patel SR、Hariohm K、Soni VS、Alagumoorthi G 「Importance of squatting and sitting on the floor: Perspectives and priorities of rural Indian patients with stroke」『Topics in Stroke Rehabilitation』2016年、第23巻4号、240～244ページ
- 10) 被引用：Demura S、Uchiyama M、Yamada T、Nagasawa Y 「Effect of bag holding on the center of foot pressure and the lower leg muscle activities」『European Journal of Sport Science』2005年、第5巻3号、89～96ページ
- Beurskens R、Muehlbauer T、Grabow L、Kliegl R、Granacher U 「Effects of Backpack Carriage on Dual-Task Performance in Children During Standing and Walking」『Journal of Motor Behavior』2016年、第48巻6号、500～508ページ
- 11) 被引用：Demura S、Uchiyama M 「Effect of Japanese sitting style (Seiza) on the center of foot pressure after standing」『Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science』2005年、第24巻2号、167～173ページ
- Burnham JM、Howard JS、Hayes CB、Lattermann C 「Medial Patellofemoral Ligament Reconstruction with Concomitant Tibial Tubercle Transfer: A Systematic Review of Outcomes and Complications」『Arthroscopy - Journal of Arthroscopic and Related Surgery』2016年、第32巻6号、1185～1195ページ
- * 学術論文査読
- 1) 『International Journal of Sport and Health Science』（日本体育学会）、論文（英文）査読1件、リバイス2回
 - 2) 『Human Performance Measurement』（日本体育測定評価学会）、論文（英文）査読1件、リバイス3回

宮本 雲平 准教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Ogasawara, K., Harada, T. and Miyamoto, U., 「High efficiency of collisional Penrose process requires heavy particle production」『Physical Review D』（American Physical Society）2016年2月23日、第93巻、第4号、044054、1～18ページ（共著）
- 2) Harada, T., Kinoshita S. and Miyamoto, U., 「Vacuum excitation by sudden appearance and

disappearance of a Dirichlet wall in a cavity」『Physical Review D』(American Physical Society) 2016年7月5日、第94巻、第2号、025006、1～17ページ(共著)

- 3) Harada, T., Ogasawara, K. and Miyamoto, U., 「Consistent analytic approach to the efficiency of collisional Penrose process」『Physical Review D』(American Physical Society) 2016年7月20日、第94巻、第2号、024038、1～5ページ(共著)

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 宮本雲平、原田知広、木下俊一郎「Dirichlet 壁の出現・消滅による真空励起」日本物理学会第71回年次大会、2015年3月20日(於：東北学院大学)
- 2) 宮本雲平、「ブラックホールと流体：類似性と双対性(1)～(2) (招待講演)」第1回数理解セミナー、2016年7月29日(於：撰南大学)
- 3) Miyamoto, U. 「Is wormhole formation prohibited by semi-classical effects?」Spanish-Portuguese Relativity Meeting: One Hundred Years of the Schwarzschild Solution、(2016年9月12日)(於：カルースト・グルベンキアン財団)
- 4) 宮本雲平、原田知広、木下俊一郎「急激な境界条件の変化による量子真空の励起」日本物理学会2016年秋季大会、2015年9月22日(於：宮崎大学)

* 学会報告座長

- 1) 日本物理学会第71回年次大会、宇宙線・宇宙物理学領域、相対論セッション、2015年3月20日(於：東北学院大学)

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 秋田県立大学 学生・アドミッションチーム主催、ハイレベル数学講座「数学で解く物理の世界 I～III」2016年3月28～30日(於：秋田県立大学本荘キャンパス)
- 2) 秋田県立大学総合科学教育研究センター主催、教養と遊ぶ：県立大学市民公開セミナー、「量子力学の世界」2016年4月19日(於：秋田県立大学本荘キャンパス)
- 3) 秋田県立大学創造工房主催、創造楽習「LaTeX でかっこいい論文を書こう：数式を自由自在に書けるようになる」2016年6月20～21日(於：秋田県立大学本荘キャンパス)
- 4) 秋田県教育委員会主催、高校生将来設計ガイダンス、学問別ガイダンス「物理学」2016年8月8日(於：秋田県立大学秋田キャンパス)

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 文部科学省科学研究費、基盤研究(C)「ワームホール形成における爆発的粒子生成と超伝導回路を用いたその再現実験の提案」研究代表者、910,000円

鈴木 祐丞 助教

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 著書</p> <p>1) 『キェルケゴールの日記 哲学と信仰のあいだ』（講談社）2016年4月15日（編訳、単著）</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 鈴木祐丞「キェルケゴールの思想の研究において、日記を資料として活用することの必要性について」『哲学・思想論叢』（筑波大学哲学思想学会）2016年1月31日、第34号、1～14ページ（単著）</p> <p>2) 鈴木祐丞「斎藤喜博の教育論の今日的意義」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2016年3月31日、第17号、1～8ページ（単著）</p> <p>3) 鈴木祐丞「日記における信仰をめぐる思索のフィクション性について」『新キェルケゴール研究』（キェルケゴール協会）2016年5月15日、第14号、39～50ページ（単著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) 鈴木祐丞「キェルケゴール研究のこれまでとこれから」筑波大学哲学・思想学会第37回大会、2016年10月15日（於：筑波大学）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) キェルケゴール協会理事（2016年7月～）</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 大学コンソーシアムあきた 高大連携授業「哲学カフェ」、5月27、6月3・10・17日（於：カレッジプラザ）</p> <p>2) 第1回秋田哲学塾「キェルケゴール——日記に読み解くその全貌」、2016年5月29日（於：カレッジプラザ）</p> <p>3) 平成28年度高校生未来創造支援事業 将来設計ガイダンス 学問別ガイダンス「哲学」、2016年8月8日（於：秋田県立大学）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費（若手研究 B）「日記を活用した後期キェルケゴール思想の研究」（課題番号16K16704）、2016年4月～2019年3月、研究代表者</p> <p>2) 平成28年度秋田県立大学部局提案型研究推進事業（部局推進型研究）「秋田県における哲学のニーズと寄与についての研究」、研究代表者</p>

* 新聞・雑誌掲載等

1) 「哲学の現在地 公開講座『秋田哲学塾』の開催に寄せて」『秋田魁新報』、2016年5月27日

* 記事・コラム・取材協力等

1) 「人間にとって『宗教』とは何か? 絶望からの救いを求め続けたある偉大な哲学者の思索と苦闘
キェルケゴールはこう考えた」『現代ビジネス』(講談社)、2016年6月5日 (<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/48824>)

* 被書評・引用・言及等

1) 藤枝真「鈴木祐丞『キェルケゴールの信仰と哲学——生と思想の全体像を問う』書評」『新キェルケゴール研究』(キェルケゴール協会)、2016年5月15日、第14号、88～93ページ

* その他

1) 公開講座「秋田哲学塾」の主催・ファシリテーター、2016年5月29日(第1回)、6月5日(第2回)、6月19日(第3回)、6月26日(第4回)、9月25日(第5回)(於:カレッジプラザ)

渡部 昌平 教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 渡部昌平『はじめてのナラティブ／社会構成主義キャリア・カウンセリング』(川島書店) 2016年7月30日(単著)
- 2) 労働政策研究・研修機構編『新時代のキャリアコンサルティング—キャリア理論・カウンセリング理論の現在と未来』2016年8月31日(共著) pp78-81, 136-139, 214-221担当

* 学術論文等

- 1) 渡部昌平「社会構成主義からライフ・キャリア適応を考える—社会構成主義キャリア・カウンセリング各派からの示唆—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2016年3月31日、第17号、19～24ページ(単著)
- 2) 渡部昌平「社会構成主義キャリア・カウンセリング技法を用いた学生に対するメール相談」『産業カウンセリング研究』2016年3月31日、Vol17No.1、45～54ページ(単著)
- 3) 渡部昌平「社会構成主義キャリア・カウンセリングを参考としたキャリア教育教材の開発と評価」『リメディアル教育研究』2016年10月31日、第10巻第2号、86～92ページ(単著)

* Proceeding

- 1) 渡部昌平「社会構成主義を理解・実践する(1)語りを引き出す～そのために質問する」『職業研究』(一般社団法人雇用問題研究会) 2016年11月10日、2016.No.3、22ページ(単著)

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 渡部昌平「変化と多様性の中で、学生のアイデンティティを引き出す—社会構成主義キャリア・カウンセリングの事例検討」日本発達心理学会第27回大会、2016年4月30日(於:北海道大学)

- 2) Shohei Watanabe 「Localizing narrative approach - the case of Japanese students -」 Asia Pacific Career Development Association 2016 Annual Conference 2016年5月19日（於：国立台湾師範学校）
- 3) Shohei Watanabe 「Study about the effect of "Search exception" and "Scaling"- Case of students in Japan」 31st International Congress of Psychology、2016年7月27日（於：パシフィコ横浜）※講義と重複したため発表取りやめ
- 4) 渡部昌平 「経験を積ませながらキャリア・カウンセリングを行う」日本ブリーフサイコセラピー学会第26回大会、2016年7月30日（於：東洋英和女学院大学）
- 5) 渡部昌平 「学生グループワークに企業人が参加する効果—企業人参加によるコミュニケーション教育の試み—」日本教育カウンセリング学会第13回研究発表大会、2016年8月21日（於：山形大学）
- 6) 渡部昌平 「ジョブ・カードの記載例を学生生活のロールモデルとして活用する」日本産業カウンセリング学会第21回大会、2016年9月19日（於：立正大学）
- 7) 渡部昌平 「コミュニケーション教育による過去の捉え方と自己評価の変化の検討」日本キャリア教育学会第38回研究大会、2016年10月16日（於：札幌大谷大学）
- 8) 渡部昌平 「コミュニケーション教育に解決志向アプローチを導入する」日本リメディアル教育学会第1回東北支部大会、2016年12月3日（於：桜の聖母短期大学）

*ワークショップ・シンポジウム

- 1) 渡部昌平 「産業社会の期待に応えるには—モチベーション・生産性・顧客満足度の向上のために産業カウンセラーができること」産業カウンセリング全国研究大会 第2分科会、2016年5月29日（於：大宮ソニックシティ）
- 2) 渡部昌平 「ナラティブ／社会構成主義を教育カウンセリングに取り入れる」日本教育カウンセリング学会第14回研究発表大会ミニ研修会講師、2016年8月21日（於：山形大学）
- 3) 狩野賢・坂田貴子・勝又あずさ・渡部昌平・平和俊・水野修次郎 「ライフ・デザイン・カウンセリング」日本産業カウンセリング学会第21回大会ラウンドテーブル、2016年9月19日（於：立正大学）
※企画者およびパネリスト
- 4) 古川雅文・渡部昌平・若松養亮・川崎友嗣 「キャリア教育に関する研究と実践の倫理をめぐって—近年の動向と学会の姿勢を考える—」日本キャリア教育学会第38回大会 倫理委員会企画・各委員会共催シンポジウム、2016年10月16日（於：札幌大谷大学）

*学会報告座長

- 1) 日本産業カウンセリング学会第21回大会 個人研究・事例発表Ⅱ-A、2016年9月19日（於：立正大学）

Ⅲ 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 秋田県地域訓練協議会会長、2012年6月～
- 2) 秋田県ジョブ・カード運営本部会議委員長、2012年11月～
- 3) (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会会長、2015年4月～ほか

* 学会活動

- 1) 日本産業カウンセリング学会 理事 (2014年 9月～)
- 2) 日本キャリア教育学会 資格認定委員会委員 (2015年 4月～)
- 3) 日本教育カウンセラー協会秋田支部 事務局次長 (2015年10月～2016年 7月) 筆頭理事 (2016年 8月～)
- 4) 日本産業カウンセリング学会 学術論文査読
- 5) 日本教育カウンセリング学会 編集査読協力委員 (2016年 3月～)

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 秋田県委託事業キャリアアップ支援セミナー「従業員満足度向上のための人材戦略セミナー」、2016年 2月22日 (於：にぎわい交流館 AU)
- 2) 秋田県委託事業キャリアアップ支援セミナー「従業員満足度向上のための人材戦略セミナー」、2016年 2月24日 (於：大館市北地区コミュニティセンター)
- 3) 秋田県委託事業キャリアアップ支援セミナー「従業員満足度向上のための人材戦略セミナー」、2016年 2月26日 (於：横手市交流センターわいわいプラザ)
- 4) 中学校新任進路指導主事研修講座「中学校におけるキャリア教育」、2016年 6月 9日 (於：秋田県総合教育センター)
- 5) 教員免許状更新講習「キャリア教育と日常の接続～自己理解と協力・学びの必要性の理解」、2016年 9月11日 (於：秋田県立大学)
- 6) 御所野学院出前講座「就職・公務員希望者向け講座」、2016年 9月27日 (於：御所野学院中等学校)
- 7) 秋田北倫理法人会経営者モーニングセミナー「成長する技術」、2016年10月 6日 (於：ホテル大和)
- 8) 秋田県立秋田西高等学校模擬講義「文系の学び」、2016年10月12日 (於：秋田県立大学)
- 9) 小学校キャリア教育推進研修講座「小学校だからこそキャリア教育」、2016年10月20日 (於：秋田県総合教育センター)
- 10) 日本キャリア・カウンセリング研究会公開セミナー「現場で使えるナラティブ!」、2016年11月 6日 (於：港区立神明いきいきプラザ)
- 11) 網走市立網走東小学校 地域連携研修「小学校におけるキャリア教育の進め方」、2016年12月15日 (於：網走市立網走東小学校)

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 平成25年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C)「小中高大を貫く効果的な「仕事理解」の内容・方法の具体化に関する研究」(課題番号25381267)、2013年 4月～2016年 3月、研究代表者

* 報告書等

- 1) 『職業相談場面におけるキャリア理論及びカウンセリング理論の活用・普及に関する文献調査』報告書 (労働政策研究・研修機構) 2016年 3月28日 (共著)

- 2) 平成25年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)「小中高大を貫く効果的な「仕事理解」の内容・方法の具体化に関する研究」報告書(課題番号25381267)、2013年4月～2016年3月、研究代表者

白山 雅彦 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 白山雅彦「本学の教職課程の在り方についての考察～教職課程履修学生への調査結果からの第一報～」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2016年3月31日、第17号、73～86ページ(単著)

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 一般財団法人秋田県高等学校定時制通信制教育振興会理事、2013年4月～
2) NPO法人あきた・まなVIVA! 創造塾理事、2013年4月～
3) 秋田県立秋田南高等学校・中等部外部評価委員、2016年5月～
4) 秋田県教員育成協議会委員、2016年9月～
5) AAB秋田朝日放送番組審議会委員、2016年9月～
6) 財団法人理数教育研究所「第6回リケジョ(理系女子)をめざそう in 秋田」実行委員、2016年11月27日(於: 秋田県立秋田北鷹高等学校)

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 平成28年度由利耕心大学講座(高齢者を対象とした生涯学習講座)「人々の絆を深める関わり方について今考えていること」、2016年11月10日(於: 由利本荘市西目公民館シーガル)

高橋 守 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「A Comparative Study of the Novels of Wallace Stegner and William Gibson」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2016年3月31日、第17号、25-33ページ(共著)

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Innovation in the Classroom by Using the Moodle Workshop Module」全国語学教育学会（JALT）分野別研究部会2016年次大会、2016年5月21日（於：名城大学）
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Plot-driven vs. Character-driven Novels IV」日本アメリカ文学会東北支部6月例会、2016年6月11日（於：東北大学）
- 3) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Plot-driven Versus Character-driven Stories」全国語学教育学会第42回年次国際大会、2016年11月26日（於：愛知県産業労働センター・ウイंक愛知）

III 社会活動・受賞等

* 学会活動

- 1) 全国語学教育学会秋田支部役員（会計担当役員2015年10月～）
- 2) 日本ムードル協会 第9回日本ムードルムート投稿論文査読委員、2016年11月

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 「教養と遊ぶ」秋田県立大学市民公開セミナー、2016年4月9日（於：秋田県立大学）
- 2) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2016年9月5日、10月3日、10月17日（於：秋田県立大学）

檜山 晋 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Hiyama, Susumu. 「Element Order in *The Blickling Homilies*: Part VII」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2016年3月31日、第17号、35～44ページ（単著）

V その他の活動

* 講演・公開講座

- 1) 「教養と遊ぶ」県立大学市民公開セミナー「落穂ひろい～言葉・文化を中心に～」、2016年4月16日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 2) 大学高校連携授業「由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業」、2016年5月16日、5月23日、5月30日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 3) 「学問別ガイダンス（英語学・言語学）」、2016年8月8日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）

岡崎 弘信 教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Kido E、Fukuda E、Hashimoto S、<u>Okazaki H</u> 「Short-term Chaotic Time-Series Prediction of Language Test Scores Adopting the Backpropagation Algorithm」『the Journal of Japan e-Learning Association 16』(Japan e-Learning Association) 2016年8月、65～72ページ (共著)</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) <u>岡崎弘信</u>、橋本信一、福田衣里、木戸和彦、江原智子 「オリジナル e-ラーニングプログラム Vocabulary Manager の有効性の検証」外国語教育メディア学会第56回全国研究大会、2016年8月7～9日 (於：早稲田大学)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 秋田県芸術文化振興基金補助金審査委員、2015年4月～</p> <p>2) TDK 由利本荘(株)英語アドバイザー、2011年6月～2016年3月</p> <p>3) 由利高等学校27年度第2学年「課題研究」発表会講評者、2016年11月25日 (於：文化交流館カダール)</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業、2016年10月24日、11月14日、11月28日 (於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p> <p>2) 「教養と遊ぶ」秋田県立大学市民公開セミナー、2016年4月9日 (於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費 (基盤研究 (B))、「テラーメイド型教育カルテの構築と学習最適化の研究」(研究課題番号25282061)、2013年4月～2017年3月、研究代表者</p> <p>2) 日本学術振興会科学研究費 (挑戦的萌芽研究)、「工学的手法を用いた英語リスニング教材における難易度自動判定の研究」(研究課題番号15K12420)、2015年4月～2018年3月、研究代表者</p> <p>3) 日本学術振興会科学研究費 (基盤研究 (B))、「航空管制の安全を脅かす母語話者の発音の乱れと対策の研究」、2016年4月～2019年3月、研究分担者</p> <p>* 学術論文査読</p> <p>1) ATEM Journal vol.21 (1本)</p>

Terri L. Nagahashi 准教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) Nagahashi, T. L. 「Project-based learning in APU's new science English course」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2016年3月31日、第17号、53～64ページ（単著）
- 2) Nagahashi, T.L. 「Theme-based interdisciplinary approach to short-term study abroad」『秋田県立大学ウェブジャーナル B』2016年3月、Vol.3, 132～136ページ.

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 鳥海高原菜の花まつりボランティア、2016年5月21日（於：由利本荘市矢島町城内字桃野）
- 2) 財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業「秋田の農家民泊一体験から持続的交流へ」ボランティアリーダー、2016年10月1日2日、11月5日
- 3) 秋田花まるっグリーン・ツーリズム「秋田グリーン・ツーリズムまるごと体験研（第2回）大館市」2016年10月22日23日
- 4) あきたキイチゴ利活用研究会研究員、2008年～（於：秋田県、五城目町）
- 5) 秋田県立秋田北鷹高等学校 スーパーサイエンスハイスクール・アドバイザー 2014年～

IV 講演・公開講座等

*講演・公開講座

- 1) 平成27年度秋田県立大学学長プロジェクト（創造的研究）「Intercultural awareness and sustainability: Establishing interdisciplinary study abroad programs」、2015年4月～2016年3月、研究分担者
- 2) 秋田県立秋田北鷹高等学校 スーパーサイエンスハイスクール「*Development of presentation skills for participants of the international rocket contest fly-off in Farnborough, Hampshire, England*」2016年7月8日（於：Akita Prefectural University, Akita, Japan）
- 3) Intro to Permaculture 2016 Oregon State University 2016年5月2日～27日
- 4) Whole Systems Design Permaculture Design Certificate Course 2016年7月29日～8月7日
- 5) グラムスタディスター アドバイザー、2015年～
- 6) WWOOF Japan Volunteer 2016年9月16日～25日
- 7) 平成28年度あきたキイチゴ利活用研究会講演「Utility of raspberry juice and byproducts in holiday home cooking」2016年12月11日（於：秋田県、五城目町）
- 8) 「*Obesity, Health, and Sustainability*」Coordinator and host for guest speaker, P. Barton Duell, M.D. Professor of Medicine Knight Cardiovascular Institute and Div. of Endocrinology, Diabetes & Clinical Nutrition Oregon Health Sciences University Portland, OR2016年12月19日～22日

スティーヴン・シュカート 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Mamoru Takahashi & <u>Stephen Shucart</u> 「A Comparative Study of the Novels of Wallace Stegner and William Gibson」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2016年3月31日、第17号、25-33ページ (共著)</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Mamoru Takahashi & <u>Stephen Shucart</u>、「Innovation in the Classroom by Using the Moodle Workshop Module」全国語学教育学会 (JALT) 分野別研究部会2016年次大会、2016年5月21日 (於：名城大学)</p> <p>2) Mamoru Takahashi & <u>Stephen Shucart</u>、「Plot-driven vs. Character-driven Novels IV」日本アメリカ文学会東北支部6月例会、2016年6月11日 (於：東北大学)</p> <p>3) <u>Stephen Shucart</u> & Mamoru Takahashi、「Plot-driven Versus Character-driven Stories」全国語学教育学会第42回年次国際大会、2016年11月26日 (於：愛知県産業労働センター・ウインク愛知)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員 (広報担当役員1999年6月～)</p> <p>2) 全国語学教育学会 CALL-SIG 「CALL-EJ」査読委員</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 「教養と遊ぶ」秋田県立大学市民公開セミナー、2016年4月9日 (於：秋田県立大学)</p> <p>2) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2016年6月6日、6月20日、7月4日 (於：秋田県立大学)</p>

加賀谷真澄 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 著書</p> <p>1) 『異文化理解とパフォーマンス——Border Crossers』(春風社) 2016年 (共著：松田幸子・笹山敬輔・姚紅編著、担当箇所：加賀谷真澄「桜田文吾『貧天地飢寒窟探検記』の貧困表象」、162～179ページ)</p>
--

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 加賀谷真澄「明治が見たビクトリア朝の貧困——挿絵を通して」日本英文学会東北支部第71回大会、2016年11月19日（於：秋田カレッジプラザ）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 日本比較文学会東北支部役員、2013年6月～
- 2) 秋田県立秋田高等学校同窓会150年史編集準備委員、2014年8月～
- 3) 秋田県観光文化スポーツ部主催「あきたの文芸」小説・評論部門選考委員、2015年4月～
- 4) 秋田県男女共同参画審議会委員、2015年10月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 秋田県教育委員会主催「高校生将来設計ガイダンス」、学問別ガイダンス「比較文学、英米文学」担当、2015年8月10日（於：秋田県立大学）
- 2) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（B））「1945年を跨境して—アジアにおける英米文学教育のジオポリティックス」（研究課題番号16H03392）第一回研究集会 招待講演「ある渡米苦学生—『力行世界』からの発見」、2016年8月28日（於：筑波大学東京キャンパス）
- 3) 秋田県立大学地域連携・研究推進センター主催、秋田県立大学部局間研究フォーラム「米国における苦学生の実態的研究—明治期から大正期にかけて—」、2016年9月2日（於：カレッジプラザ）
- 4) 高大連携授業「あきた異文化コミュニケーション講座」、2016年10月16日（於：秋田県立大学）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費（挑戦的萌芽研究）、「米国における苦学生の実態的研究—明治期から大正期にかけて」（研究課題番号15K12859）、2015年4月1日～2018年3月31日、研究代表者

* 被書評・引用・言及等

- 1) 荒木正純「越境者たちの祝宴 各論者の「境界逸脱性」を特色とする「総合文学」的な書 『異文化理解とパフォーマンス——Border Crossers』『図書新聞』、2016年12月17日、3283号、第3面
- 2) 「本の情報 『異文化理解とパフォーマンス——Border Crossers』『mr partner』、2016年9月10日、336号、69ページ

* 選評

- 1) 加賀谷真澄「推敲に時間をかけて」『あきたの文芸』（秋田県）、2015年11月18日、第49集、83～84ページ

江口 真規 助教

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 『異文化理解とパフォーマンス——Border Crossers』(春風社) 2016年7月(共著:松田幸子・笹山敬輔・姚紅編著、担当箇所:江口真規「安部公房「詩人の生涯」と『詩集下丸子』——「糸車」・「老婆」・「詩人」の解釈をめぐって」243~265ページ)

* 学術論文等

- 1) 江口真規「安部公房作品における羊の表象——満洲の緬羊飼育との関係から——」『比較文学』(日本比較文学会) 2016年3月、第58巻、69~81ページ

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 江口真規「近現代日本における牧歌の受容と「牧歌的」風景の変遷」2016年度 ASLE-Japan/文学・環境学会全国大会、2016年8月21日(於:AOSSA 福井市地域交流プラザ)
- 2) 江口真規「英文学における羊の表象とその変遷——夏目漱石の講義録を手掛かりに——」日本英文学会東北支部第71回大会、2016年11月19日(於:秋田カレッジプラザ)

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 2017年度フルブライト語学アシスタントプログラム (Fulbright Foreign Language Teaching Assistant Program) 審査委員、2016年9月

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 平成28年度高校生未来創造支援事業 将来設計ガイダンス 研究室訪問 I・II 担当者、2016年8月9日(於:秋田県立大学)
- 2) 日本学術振興会科学研究費(基盤研究(B))「1945年を跨境して—アジアにおける英米文学教育のジオポリティックス」(研究課題番号16H03392) 第一回研究集会 招待講演「夏目漱石『三四郎』にみられる明治時代の女子英語教育」2016年8月28日(於:筑波大学東京キャンパス)

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費(挑戦的萌芽研究)「米国における苦学生の実態的研究—明治期から大正期にかけて」(研究課題番号:15K12859)、2016年6月~2018年3月、研究分担者
- 2) 平成28年度秋田県立大学学長プロジェクト研究費(新任教員スタートアップ支援研究)「日本国内におけるアニマル・スタディーズの動向に関する比較文化研究」、2016年7月~2017年3月、研究代表者

3) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））「国際ペンクラブと世界文学史の相関——日中印外交と英連邦史、欧州史」（研究課題番号：16K02607）、2016年10月～2019年3月、研究協力者

* 被書評・引用・言及等

1) 荒木正純「越境者たちの祝宴 各論者の「境界逸脱性」を特色とする「総合文学」的な書 『異文化理解とパフォーマンス——Border Crossers』『図書新聞』、2016年12月17日、3283号、第3面

2) 「本の情報 『異文化理解とパフォーマンス——Border Crossers』『mr partner』2016年9月10日、336号、69ページ

* その他

1) 2016年グアム大学語学研修引率、2016年9月4日～2016年9月18日